



10月23日(水) 「人権が配慮された避難生活をおくるために」

12月の寒い日、地震が起きました。自宅は壊れ、中に入ることができないため、外出先から、そのまま近くの学校に避難することになりました。学校に着くと体育館に案内され、避難してきた人でいっぱいになりました。停電と断水のため、夕方になると体育館は真っ暗になり、水道の水は使えませんでした。普段の生活との違いを考え、避難所生活でも人権が尊重されるには、どうしたらよいかを話し合いました。

みんなの感想

1年生

- 災害でストレスがたまつたりして、自分優先になるのもわかるけど、体の不自由な人や赤ちゃんのいる家族の人たちを、少しでも気遣っていけたらいいなと思いました。その他に、災害が起こったら何が起こるか、我慢できることとできないことを改めて考えられました。
- この資料を勉強して、日頃の生活がどれだけ充実しているかがわかりました。スマホも見れて、ゲームもできて、ベッドで寝れるのが、すごい幸せだなと思いました。避難所生活でのトラブルは、皆が思いやりを持ち、人との関わりを持つことで解決されると思いました。
- 避難所のイメージは、人がいっぱいいて、あまり食糧がないという感じだったけど、実際に写真を見てみたり、体験した人たちの話を読んだりしてみると、いろいろな問題がありました。その中でも、避難所で女性がたくさんの仕事をしているというのがあったけど、班で話し合って、皆に平等に仕事を割り振れば、トラブルも起きにくいのではないかと考えました。
- 自分にとっての普通や親しい人にとっての普通でなく、その人のルールやこだわりにできるだけ合わせて対応することだと思います。避難所にはいろんな人がいて、その人たちができるだけ納得できるように説明したり、その人にとつて便利な場所に誘導したり、でもたくさんの人を素早く誘導するために配慮とかも考えながら判断したいです。
- 私たちの班は、女性ばかりが炊き出しをして、子どもや高齢者のお世話ができないことにについて話し合いました。避難所では一人一人の協力がないとできないことがあります。炊き出しや掃除を当番制にしたら、協力もできるし、大変なことが少なくなると思いました。
- 今回の道徳では、厳しく限られた環境の中、どうすれば人権を守ることができるのかについて考えました。今度のHUG研修では短い時間で判断しないといけないので頑張りたいです。

2年生

- 今まで、災害が起きたとき、食糧や水、気温、トイレの心配をしていたけど、問題はそれだけじゃないのだと分かりました。例えば、プライバシーや騒音、仕事の分担など、人と人との関係も、お互いにストレスなく生活するのはなかなか難しいことだと思いました。災害での避難生活が長引くと、気持ちも大変だけど、思いやりをもっていきたいなと思いました。
- 僕は避難所生活をしたことがないけれど、とても難しいことだと思いました。限られた物資で生活して、心にゆとりもないのに他の人に配慮できるかわからないと思いました。でも、もしそうなったら、できるだけ他の人に配慮できるようにならねばなりません。
- 避難所生活を送ったことがなかったので、イメージしにくかったのですが、今までの日常が送れない不自由な生活ということが皆の意見を聞いてわかり、とても厳しい生活などとわかりました。普段の生活から、偏見や差別をせずに、一人一人の特性を生かしていきたいと思います。非常事態になっても冷静でいられるようになります。
- 避難所での生活はやっぱり難しいし、精神も不安定だし、自分のプライバシーも守られないからとてもイライラすると思います。だから、普段から周りの人のこともしっかり見て、優しく接することが大事だと思います。今日学んだことをこれから的生活に生かしていきたいです。
- 私は、避難所に行くことになった時のために、防災バッグを用意したり、避難経路を確認したりしたいと思いました。また、普段から周りの人に優しく接していきたいと思いました。普段からしっかりしていないと、いざという時にあせってちゃんと行動できないと思うからです。
- 災害時の避難場所での生活には、いろいろと変なことがあることに改めて気付きました。でも経験したことがないことなので、家でも準備はしておきたいなと思いました。

3年生

- 避難所にはどんな人がいるか、どんなことが起きるかを想定して、全員が過ごしやすいような準備をする。日頃から思いやりを持ち、周りをよく見て生活して、困っている人がいたら助ける。
- 私は、普段から地域の人と会って、特に高齢者の方とは、避難しないといけない時に、声を掛けて一緒に行くことが大切だと思いました。
- 自分のことだけでなく、少しでも周りの人のことを考え、協力することが大切だと思った。そして、全ての人が快適に暮らせるように、普段から周りをよく見て生活していきたいと思った。
- 思いやりの心を持ちながら生活する（様々な人を理解する）ことが大切だと思う。また、困っている人を見つけたら、自分から声をかけていく。
- 困っている人を見かけたら、手を差し伸べるようにする。何で困っているのかを考える。
- 周りを見て、困っている人がいたら助け、お互いを尊重しあいながら生活すること。
- 赤ちゃんをつれっていたり、体に障害がある人がいたりする時は、「大丈夫かな」と優しい気持ちで見守ることが大切だと思った。
- 自分のことだけじゃなく、周りの人のことも考えることが大切だと思う。互いを尊重し合って協力できたらいいと思う。

※前回の心もれ美を見ての感想をいただきましたので、紹介させていただきます。

- 多数の生徒は、ルールを守ることが大事であるから、入場を断るべきとの意見が多いですが、私も同感です。やはりルールは規則であり、公正・公平がないといけないので、そこに個人的な感情を入れ、ルールを破るようなことがあれば秩序を保つことが難しくなるからです。一方で、社会では配慮など柔軟に対処することで上手くいくこともあるので、今回のケースを新しくルールに追加していくのはどうでしょうか。

きりとり

この通信をご覧になっての感想などを書き下さい。返信欄は切り取ってお子様を通じて担任まで提出して下さい。ご協力よろしくお願ひいたします。